

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

小児がん化学療法における制吐療法の現状に関する調査

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 田中守（愛媛大学医学部附属病院薬剤部 薬剤部長）

### 【研究の目的】

愛媛大学医学部附属病院（当院）を受診された小児がん患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、抗がん剤治療に対する制吐療法（制吐薬）の有効性や安全性について評価する研究を行うことといたしました。

小児がんは薬物治療に感受性が高く、強力な薬物治療によって治療効果が向上しています。一方、多くの抗がん剤は吐き気の高リスクが高く、抗がん剤治療に伴う吐き気や嘔吐（CINV：Chemotherapy-Induced Nausea and Vomiting）が問題となります。そのため、患者さんの生活の質（QOL）や治療の継続に多大な影響を及ぼすことから CINV のコントロールが重要となります。しかし、小児がんは標準的な制吐療法（制吐薬）が十分に確立しておらず、当院においても制吐療法（制吐薬）にバラツキがあります。また、2021年5月に5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗型制吐剤「アロキシ®」に小児適応が追加となり、制吐療法の幅も広がったことから今回、抗がん剤の吐き気の高リスクに応じた制吐療法（制吐薬）の適正化を目的に、小児がん化学療法における制吐療法（制吐薬）の現状（アロキシ®適応追加後の変化含む）について調査します。

本研究は小児がんにおける有効かつ適正な治療方法の検討を目的としたものであり、その結果は今後の診療に役立てられると考えています。

### 【研究の方法】

(対象となる患者さん) 2011年1月から2027年12月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち、小児がんと診断され化学療法を受けた18歳以下の患者さん

(利用するカルテ情報) 年齢、性別、身長、体重、体表面積、癌種および病期、化学療法直前の血液検査値、レジメン名、抗がん剤および制吐剤の名称・投与量・投与回数、CINVの有無・期間、CINVに対する救済治療(薬剤名・投与回数など)の有無

### 【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

#### <試料・情報の管理責任者>

愛媛大学医学部附属病院薬剤部 濟川聡美

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

### 【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院薬剤部 飛鷹範明

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5731